

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。
 本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者さんもしくは患者さんの代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	膵癌患者におけるnab-PTX/GEM療法の有効性と毒性評価			
2. 対象患者	膵癌の患者さんで、ナブ パクリタキセル+ゲムシタビン療法を開始された方			
3. 対象となる期間	平成25年1月1日 ~ 平成30年 3月 31日			
4. 実施診療科等	腫瘍内科			
5. 研究責任者	氏名	佐藤 温	所属	大学院医学研究科腫瘍内科学講座
6. 共同研究機関 (共同研究機関研究責任)	該当なし			
7. 研究の意義	膵癌患者さんのよりよい化学療法を目指します。			
8. 研究の目的	ナブ パクリタキセル+ゲムシタビン療法の、有効かつ安全に治療を継続させる投与方法と支持療法を検討します。			
9. 研究の方法 (使用・提供する資料等および外部に提供する場合の方法等)	以下の診療録に記載のある情報を匿名化の上利用します。 ①背景情報:年齢・性別・身長・体重・Performance Status(活動度)・原発部位・疾患状況(進行/再発)・原発巣の有無・転移臓器・病理診断・手術/放射線/化学療法歴 ②抗がん剤投与情報:投与日/用量、相対用量強度、延期/減量情報 ③安全性情報:末梢血検査・生化学検査・非血液学的有害事象 ④有効性情報:腫瘍縮小効果(奏効率)、無増悪生存期間、全生存期間、後治療情報			
10. 個人情報の保護	利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。なお、学会等公表後の参加拒否の申し出には応じられません。			
11. 利益相反に関する状況	研究代表者は、中外製薬株式会社、大鵬薬品工業株式会社、第一三共株式会社より講演謝金を受領しています。また、研究代表者の所属講座では、中外製薬株式会社、大鵬薬品工業株式会社、第一三共株式会社からの寄付金を受領しています。これらは、この研究の資金源としてではなく、業務に対する正当な対価やこの研究とは関係の無い研究に対する資金提供です。これらによって研究成果が歪められることはありません。この利益相反については、大学院医学研究科医学研究(臨床研究等)利益相反マネジメント委員会の審査を受けており、関連する企業や団体などと研究の信頼性を損ねるような利害関係を有していないことが確認されております。			
12. 連絡先	大学院医学研究科腫瘍内科学講座 教授 佐藤 温			
	電話	0172 - 39 - 5346	FAX	0172 - 39 - 5347